

しんあい

季刊

社会福祉法人
多摩同胞会

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10
TEL042-367-8801

多摩同胞会のホームページでは、
ブログを毎日更新しています。

<http://www.tama-dhk.or.jp/>
をぜひご覧下さい！

2015年(平成27年)8月5日発行 第95号 ◆編集と発行 しんあい編集部



暑さに負けずがんばるぞ！
もぎたてのナスは緑苑の菜園でとれました。

泉苑

- ・特別養護老人ホーム信愛泉苑
- ・高齢者在宅サービスセンター
泉苑ケアセンター

緑苑

- ・養護老人ホーム信愛寮
- ・特別養護老人ホーム信愛緑苑

あさひ苑

- ・府中市立特別養護老人ホームあさひ苑
- ・府中市立あさひ苑
高齢者在宅サービスセンター

神田事業所

- ・特別養護老人ホームかんだ連雀
- ・かんだ連雀高齢者
在宅サービスセンター
- ・千代田区立岩本町ほほえみプラザ

児童福祉

- ・子ども家庭支援センターしらとり
- ・母子生活支援施設白鳥寮
- ・母子生活支援施設網代ホームきずな
- ・府中市子ども家庭支援センターたち

- ・新・介護保険を考える13
- ・スウェーデン研修報告
- ・施設だより
「夏休みの思い出」



新・介護保険 を考える 13

—特別養護老人ホーム の利用者負担の変化—

理事長 鈴木 恂子



平成27年8月からの制度改正は、一部の利用者負担が一部から二割になる変更とともに、特別養護老人ホームの入所者およびショートステイ利用者にとっては、食事代や居住費に関連する変更が実施されます。今回は、食事代や居住費を中心に、利用者負担の変化をまとめました。

介護保険法の三つの施設サービスのうち、介護老人福祉施設は老人福祉法の特別養護老人ホームから移行しました。現在も二つの法律に位置付けられていますが、老人福祉法による生活面の財源保障はなく、介護保険法による施設サービス費（老人福祉法による措置費単価がベースとなった）に移行しました。

平成18年度第三期の改正は、持続可能な制度を目標に給付の適正化の名のもとで抜本的な制度改正が行われました。当然のことながら、介護の保険は介護サービスに限りなく特化されていき、福祉法による生活の保障は根拠を失い、居住費・食費が自己負担になりました。

しかし負担ができない利用者への配慮は不可欠なため、特定入所者介護サービス費（補足給付）という軽減制度ができました。それから10年後の平成27年度第六期の改定は、この補足給付の対象者が大きく見直されました。

8月1日から次の要件に該当する方は、補足給付の対象外となります。

1. 所得条件：施設入所により世帯分離していても配偶者が住民税課税の場合（必要に応じて戸籍等の照会を行う）
2. 資産条件：単身で1,000万円超、夫婦で2,000万円超の預貯金等（現金、たんす預金、有価証券等を含む）を所有している場合＜預貯金等＞（通帳等の写しおよび区市から金融機関に照会するための同意書の提出が必要となる）
（不正受給にはペナルティなど設け、適切な申請を促す）

特養入所は原則住所が施設所在地となり、世帯を分離するため多くの方は単身世帯、本人非課税となり、利用者負担段階の第2段階、第3段階となり補足給付の対象になりました。今回の新たな要件により、自宅で暮らす配偶者が住民税課税となると第4段階となり、補足給付の対象外となります。

			平成 12 (2000) 年度	平成 15 (2003) 年度	平成 18 (2006) 年度	平成 26 (2014) 年度	平成 27 (2015) 年度				
特記事項	老人福祉法 → 介護保険法		・老人福祉法 → 介護保険法	・特養の報酬が大幅に減額し、各種加算が多くなりました。	・一年前倒しに平成17(2005)年度より特養の食費と居住費が原則利用者負担となり、施設サービス費は減額しました。	ユニット個室料 1,970円 (日額) 月額 (30日) 59,100円 食事代 1,380円 (日額) 月額 (30日) 41,400円 計 100,500円が国が設定する特養の基準額となりました。 有料老人ホームと競合するともいわれました。	・8月1日より多床室が一日840円になり、食事代居住費負担を軽減していた補足給付が厳しくなると、昨年度まで第2段階だった方が第4段階になると一気に負担増になります。				
	措置 (行政処分) → 要介護認定 (行政処分)		・措置 (行政処分) → 要介護認定 (行政処分)	・施設は要介護3以上の方を受け入れる方向で要介護1~2の報酬は大幅減となりました。	・食事代の大幅減により従来の水準を低下させず継続することを苦慮しました。	・一方、都内では待機者も多く、従来型・多床室を必要とする声も多くあります。	年度	食事代	居住費	合計	
	介護を必要とする高齢者の生活保障 → 介護の世話・サービスの提供		・介護を必要とする高齢者の生活保障 → 介護の世話・サービスの提供	・福祉施設からの移行期を終え、介護保険施設へと変化します。			H26年度	390円	320円	710円	
	介護を中心に生活全般から入所決定 → 要介護認定を要件に直接契約		・介護を中心に生活全般から入所決定 → 要介護認定を要件に直接契約				H27年度	1,380円	840円	2,220円	
公的責任 → 自己責任		・公的責任 → 自己責任				・区市では第4段階で負担増により一方の方が生計困難に陥らぬよう特例軽減措置をとっています。(年間収入80万円以下、預貯金450万円以下等の要件)					
応能負担 → 応益負担 (重い人ほど利用料高い)		・応能負担 → 応益負担 (重い人ほど利用料高い)									
食事代 [一日あたり]	基本食事サービス費		2,120円	780円 (区市により段階ごとに軽減をしたところがあります)	1,380円	<食事代は変更なし>					
	利用者負担段階	第1段階	平成12年度~17年度は2,120円のうち食料費相当780円(病院と同額)を利用者負担としました。18年度より1,380円を基準額として全額利用者負担となりました。		300円						
		第2段階		390円							
		第3段階		650円							
第4段階			1,380円								
居住費 [一日あたり]	居室種別				従来型多床室	従来型個室	ユニット型準個室	ユニット型個室	多床室 (4/1~7/31)	多床室 (8/1~)	
	基準額				320円	1,150円	1,640円	1,970円	370円	840円	
	利用者負担段階	第1段階	<居住費負担なし>		0円	320円	490円	820円	0円	0円	<多床室以外は変更なし>
		第2段階			320円	420円	490円	820円	370円	370円	
		第3段階			320円	820円	1,310円	1,310円	370円	370円	
第4段階		320円			1,150円	1,640円	1,970円	370円	840円		
※利用者負担段階			平成14(2002)年より、施設整備補助金の基本が個室ユニット(新型特養)に移行し、居室部分は補助対象外、借入金で整備することになりました。		利用者の居住費負担が居室種別に設定されました。ユニット型は居室部分の返済額を基準に算出されたと言われていました。旧補助金で整備された従来型個室も居住費負担が発生しますが、従来型多床室(4人室標準)は居住費対象とはならず、光熱水費相当分(320円)が利用者負担となりました。				4月より多床室のみが光熱水費の値上げ相当分として50円値上げして、370円になりました。そして8月1日からは、新たに居住費470円が追加され、利用者負担は1日あたり840円となりました。そのため施設サービス費の保険給付は47単位(1単位10円が基準)減額しました。		
第1~3共通：本人及び世帯全員が非課税であること											
第1段階： 高齢福祉年金受給者、生活保護受給者											
第2段階： 合計所得金額+課税年金収入額の合計80万円以下											
第3段階： 利用者負担段階2以外の者											
第4段階： 本人課税で同一世帯に住民税課税がいる者											

(編集：法人事務局 青木 志乃)

研修

2015 スウェーデン報告

2004 (平成16) 年から始まった法人のスウェーデン・ヨーテボリ市にある「三つの財団」施設での研修は今年で10回目となりました。

今年、あさひ苑介護職員小川美沙希と緑苑介護職員佐藤ありさを派遣し、この研修に参加した職員は計30名となりました。また、今年、数年前に改築を終えたベガハウスでの実習を実施しました。ベガハウスには、ナーシングホームとグループホー

ムがあり113名の高齢者と脊椎損傷などによる障害のある25名の若い方が入居していますが、研修は5階の認知症ユニットで行いました。通訳と研修コーディネイトはヨーテボリ在住の友子・ハンソンさんにお世話になりました。

スウェーデン研修プログラム

月日	研修内容
1 5月24日	出国
2 5月25日	エンゴードバックで「三つの財団」の概要説明 ベガハウスで研修の概要説明 歓迎会 [写真1・2]
3 5月26日	ベガハウス5階ユニットで実習 早番職員の業務見学、直接介助実習
4 5月27日	ベガハウス5階ユニットで実習 遅番職員の業務見学、ご利用者とアクティビティ [写真3・4]
5 5月28日	ベガハウス「出会いの場」で体操・iPad講習会・寿司パーティーに参加 [写真5・6]
6 5月29日	ベガハウス5階ユニットで実習 福祉機器実習 [写真7] 皆さんにお別れの挨拶
7 5月30日	帰国



もの感じ方と捉え方

緑苑 佐藤 ありさ

私が実習をさせていただいたベガハウスの高齢者住宅は、全てのテーブルにキャンドルや角砂糖、たくさんの花瓶や植木鉢が置かれていました。エレベーターで違う階へ行くことも自由です。これは入居者にとって危ない環境でしょうか？

スウェーデンではエーデル改革によりナーシングホームの位置づけを「医療施設」から社会サービス法上の「住居系サービス」に変更しました。「施設」ではなく「住居」です。

前述した文章は「良い環境」なのか、「危ない環境」なのか、どう感じたでしょうか？そこが病院なら、施設なら、家なら、そのような捉え方の違いが変わると思います。日本の特別養護老人ホームは、私たちの「働く場所」であったとしても、その方にとっては「終の棲家」です。スウェーデンは福祉機器を始め設備と体制が整えられていますが、国が違えば根本的な制度も違い、日本で実践するには難しいこともありました。しかし、小さな意識の改革なら難しいことはないと思います。小さな思いも、次第に大きな変化をもたらすのではないのでしょうか。

当たり前のこともありません。そんな当たり前のことを、入居者が長い人生の最期を迎えた時「良い人生だった」と思っていただけのために、私たちは今何が出来るのかを、今一度深く考えさせられた研修でした。



市民との繋がり工夫として

あさひ苑 小川 美沙希

今回の研修で私が興味を持った事は、施設内にあるレストランの仕組みです。

レストランはベガハウスの2階にあり、100名程座れるように席が設けてあります。レストランには開放的な窓があり、中庭が見渡せる仕組みになっています。そして、中庭には門があり、隣の大きな公園から入って来る事が可能で、一般の方も利用する事が出来ます。

レストランでは、2種類のメニューから選べ、現金で購入する事が出来ます。又、沢山の種類のデザートや飲み物が選べます。

私たちの施設でも、このような社会に開かれた空間にする事によって市民との繋がりが、小さな子供から大人まで様々な方とお話し出来る環境、又、子供達がお年寄りとお話する事で老人ホームの印象が変わったり、老人ホームで働いてみたいと夢が変わるかもしれないと感じました。

他にも、市民の繋がり場として、施設の一階に予約制のサロンや歯医者があったりと、施設の利用者以外にも利用できるサービスがたくさんあるのに驚きました。

スウェーデンでは、他にも色々な違いを感じましたが、国や文化、考え方が違う中で日本のやり方に沿った利用者援助をもっと深く考え、工夫し、一日一日を楽しく過ごして頂ける様なお手伝いをしたいと思いました。



施設 だより



夏休みの思い出



日に日に暑さが増して、夏も本番となつてまいりました。子どもたちにとっては楽しい夏休み。各施設のご利用者の夏休みの思い出はどんなものでしょうか。

泉苑

『自然で』遊ぶ!!

泉苑ホームに入所されている男性のEさんとFさん。フロアは離ればなれになっていますが、大の仲良し。

そんなお二人が久しぶりに顔を合わせ「おう！元気？」と話をしている所に私も参戦！もうすぐ夏本番だねと、風鈴とうちわを片手に、

「夏はやっぱり川行って魚捕まえることだよな?」「多摩川だろ?」「田んぼに行ってよく足突っ込んで蛙捕まえてさ!」



「そうそう、こころなあ!」

開始10秒で話に花が咲きました。「うんうん」と聞いている私は、まるで彼らが過ごした時代の夏を体感することができました。

そして、現代のような大きなショッピングモール等で遊ぶのではなく、近くにある、『自然』で楽しんでいるという違いが、はっきりわかりました。

話尽きることはないお二人は、少年のようなきらきらとした笑顔でした。

(ホーム職員 宮根 百香)

連雀

夏が来れば思い出す 「川」になってほしい

千代田区内に流れる神田川、日本橋川。

江戸時代より川は生活の源として神田の生活に欠かすことのできないものでした。神田川や日本橋川の周辺は水運の便がよかつたことから、江戸から近代に至るまで経済・運輸・文化の中心として栄え、神田界隈のみならず江戸の町を支えてきました。

そんな神田川も日本橋川も、戦後間もない頃までは、夏には子供らが水遊びをするほどの清流だったそうです。

高度成長期を経て私たちの生活様式が変わったことで、都市部の河川は急速に汚川へと変化していきましました。現在では高度成長期ほどの汚染は無いにせよ、過去の川を知っている住民は「昔の川は良かった」と口を揃えます。水質だけでなく、護岸整備も進み残念ながら現在の川に「清流」を感じることはできません。再び川を「清流」に戻そうと活動するNPO法人もあり、個人や町会、企業、団体、千代田区などから協力を得て活動をしているとのこと。

子供供が昔のように川で遊び、学び、大人になってからも良い記憶として思い出せる「川」であってほしいと思います。



(地域包括支援センター相談員 浜田 誠)

緑苑

槍で追いかけてまわされた

私達の夏休みの思い出といえば、海水浴やお祭り、花火といろいろ思い出します。

緑苑のご利用者ほとんどの夏を過ごされたのでしよう。普段もの静かな女性のYさんに伺ってみました。

Yさん「夏休みになると必ず家族で、じいちゃん家に行ったのよ。じいちゃん家は、お屋敷だね。待だったのよ。」「私は思わず「えっ」「侍」と聞き返しました。

Yさんは、笑いながら「そうそう。武家屋敷に住んでたのね。二つ歳上のやんちゃん兄は、屋敷を走り回って槍を見つけてね。その槍で兄ちゃんを私を追いかけ回してね。」



あの時は刺されると思って本当に怖かったのよ。」「と話して下さいました。

私は返す言葉がなく、「侍」や「武家屋敷」という聞き慣れないことばに驚いた上に、槍で追いかけたお兄ちゃんに驚きました。Yさんにとっては、江戸時代が身近だったようです。

Yさんのお兄さんとは、1年に一度しか顔を合わす事がないそう、夏になるとお兄さんのことを思い出しては、槍で追いかけられた事が懐かしくなるそうです。生き生きとした表情で話されたのが、とても印象的でした。

(ショート担当 介護職員 原 幸子)

あさひ苑

花火大会

夏の思い出の一つとして、「花火」を思い浮かべる人もいると思います。あさひ苑ホームでは、「テラス・パーティー」や「足湯」などといった活動を定期的に行っています。その一環として、夏には毎年「花火大会」を開催しています。

あさひ苑は、非常に静かな場所にある為、夜になると木々や虫の音以外ほとんど何も聞こえてきません。

よく晴れた夜空の下、心地良い涼やかな風の中で行う花火大会。花火の「音」「光」「匂い」。

昔の懐かしい頃の記憶が自然と呼び起こされます。毎年、特に線香花火が人気です。

パチッ、パチッ、パチッ — と、音を立て、小さく散らす火花を見つめながら、「昔を思い出すわ。」「やっぱり、線香花火は、今も昔も変わらず綺麗だね。」「といった会話が交わされます。

外出できないご利用者は、窓辺で花火を眺めながら、「綺麗だねえ。昔はよくやっただものだよ。」「と、少し懐かしそに話をしてくれます。

大会の最後には、全長約二メートル「ナイアガラの滝」の迫力ある演出があり、「おおーすごいなー」と、歓声があがります。今年も、8月中旬に実施する予定です。

皆さんの「夏の思い出」となるよう、ホーム職員一同、頑張って準備していきましょう!

(あさひ苑ホーム 介護職員 永井 厚輔)



岩本町

夏の思い出

岩本町ほほえみプラザで行っている訪問食事サービスをご利用の方々に夏の思い出について聞いてみました。

Aさんはご主人と、としまえんへ花火を見に行った時のお話しをしてくださいました。花火の音にびっくりして「やっぱり花火は遠くから見るとだね」と語りあったそうです。それから、子ども頃にお父様と夏に山へ登ったお話、少し脱線して8人兄弟の中で自分だけがお父さんだったことをにこやかにお話しいただきました。



Mさんは、雑穀問屋さんを営んでいらしゃった方です。「冬は忙しいけど、夏は忙しくないから従業員と湘南へ旅行に行きましたよ。今はあまりいないけれど、住み込みの従業員っていうのが居てね、自分が帰省するとき子供も一緒に連れて行ってきて、天体観測をしてきたと言って、その後主人に望遠鏡をねだったのを思い出したわ。それに行きは良かったけど帰りの電車がとれなくてね、夜行バスで帰ってきたよ」とお話しされました。

(食事係 木村 聖人)

子ども達にとつての夏休みの思い出は様々です。子ども達の数だけ思い出があり、そこには特別な体験と感情が記憶されています。きずなにいる子ども達に夏休みの思い出を尋ねてみました。A君は、きずなの学童で行った川遊び、キャンプ、納涼祭、虫取りを挙げていました。川遊びに関しては、魚釣りをしたことが印象に残っているようでした。キャンプでは、みんなでカレーを作ったり、テントを張ったことが初めての体験であり、今年も楽しみにしているそうです。納涼祭では、射撃をして景品を当てたり、焼き鳥を食べたことが楽しかったと話していました。虫取りの話の時には、カブトムシやクワガタなど取ってきた昆虫を凶鑑で調べ、「ほく、虫にはかなり詳しくなりましたよ。」と、誇らしげでした。

きずな

きずなの夏休み

女の子のBちゃんにも夏休みの思い出を尋ねると、Bちゃんも川遊びやキャンプなど、きずなでの体験を話してくれました。

「きずなの夏休みが楽しすぎて、これまでのことは忘れちゃった。」と、嬉しそうに答えていました。



(少年指導員 山城 克之)

夏休みの思い出は子ども達を大きく成長させ、辛い時、悲しい時の心の支えになると信じています。

しらとり

みんなで作る夏の思い出

小学生は水泳指導や毎日遊びまわり小麦色に焼けています。扇風機の前を取り合い、「ワレワレハ ウチュウジンダ」なんて叫んでみたり、水筒の氷の首をカランカロン鳴らしながら「まめに水分補給するな」「あつーい!!」と言いながら暑さに負けずに過しています。

今年も心待ちにしていた夏休み。なかでもしらとり学童が宿泊で行くキャンプ行事は、夏休みのメインイベントと言っても過言ではないほど特別なもののようです。昨年行っている子は自然豊かな環境の中でおもいきり遊んだこと、火起こしをしてみんなでご飯作りをしたこと、一緒にテントで寝たこと、いろんな虫がいたことなどのキャンプで体験した思い出を次々に話してくれます。いつもと違う環境での体験にわくわく、ドキドキしたことが伝わってきます。今年初めて参加する子は不安な気持ちを持ちながらも目を輝かせながら聞いています。「今年もキャンプに行くんだよね?」と今から待ちきれない様子で、子どもたちが楽しみにしていることがわかります。



今年の夏も、みんなでいろんなことを経験して子どもたち一人ひとりとつとてかけがえのない思い出になる夏になればと思っています。

(少年指導員 木田 瑛奈)

たっち

夏休みの思い出づくり

ようこそ 夏!! この夏をはじめて迎えるお子さんもおられるでしょう。「夏休みだよ!!」と保育室に元気に遊びに来る子どもたちもいます。夏空のように清々しい元気な声が、保育室に毎日響き、夏ならではの話題に花が咲きます。

賑やかなお祭り風の曲を流すと、トン！トン！パチ！パチ！トッチン！トッチン！とタンバリンや鈴と思いに、楽器をもったり、手拍子をしたり、踊ったり・・・お祭りさながらの雰囲気です。



夏祭りやかき氷を食べてうれしかったことを教えてくれたり・・・と盛り上がりがあります。子どもたちにとつても、夏休みに経験したトッチンのことはとても印象深いようです。できるだけ、楽しく心に残るような出来事も多く共有し、みんなの笑顔がみられる、そうした瞬間をともに過ごせるのは、担当者としては幸せなことです。どのシーズンでも、保育室ではいい思い出を創るお手伝いし、皆さんと元気に過ごしていきたいと思っています。

(リフレッシュ保育担当 金子 智咲)

ボランティア紹介

緑苑応援隊

緑苑正面玄関を入ってすぐの地域交流スペースでは、緑苑を利用される方々や職員を対象に、栄養バランスの取れたおいしい食事を、1食500円で召しあがれる昼食会を開いています。そしてこの昼食会を支えて下さっているのが緑苑応援隊の皆さんです。お皿の準備や洗い物、いらっしやった方のお話し相手、絶妙なタイミングでのお茶入れ、そして何より「今日のご飯、とってもおいしいですよー」の一言がおいしいお料理をさらにおいしくし、昼食会を和やかにしてくれています。



御寄贈・御寄付ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

伊藤忠テクノソリューションズ 大沢良三 大島裕子 大塚元子 榎大塚商会 桑田忠幸 国際ソロプチミストあさひ野 セカンドハーベスト・ジャパン ちどり会 千代田区社会福祉協議会 土谷宣子 綱川千左枝 テレビ朝日福祉文化事業団 天理教東京教務婦人会柏木ひろ子 東京都食肉生活衛生同業組合 朝日銘石エネルギー フジモトHD 府中市第五地区民生委員児童重委員協議会会長吉田ヒサ子 ボイヤーミチコマリア 武蔵野好美 宗片洋子 明治神宮崇徳会 明治安田生命府中中央営業部社会貢献委員会渡嘉敷直佐子 日前田恵美子 (株)ライフテックノロジーズジャパン

(2015年4月~2015年6月)

ボランティアの御協力ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

会田久枝 赤林好子 朝日町保育所 浅見スジ子 荒井迪子 荒波智子 囲碁を楽しむ会 伊澤美紀子 石井久子 石井優里子 石坂規寛子 石坂トメヨ 石澤圭子 伊集院雅都子 泉里奈 市川知子 井上摩利子 今喜多トシ江 岩崎順 魚川桂子 梅林治代 梅原薫 梅原光洋 卜部和子 江田廣子 遠藤陽子 大川久美子 大島康子 大島庸子 太田久美子 大野文子 大山夏樹 小川君子 小川健治 奥山亜子 奥山千ヤ子 オコサの会 尾崎ヨシ子 小澤アイ子 音楽園 小貴良子 おはなし夢くらぶ 思い出重話の会 折田浩一 海江田紀久子 笠間豊子 鹿島千重子 鹿島キチ 梶山アサミ 粕野美十代 片桐キミ子 カットサロンアベ 加藤規子 加藤美美子 加藤洋子 金指真美 金子澤静江 金子武仁 川崎雅人 北島章雄 北島美恵子 木谷教子 北村二枝 北村よしこ 木森哲 具嶋郁子 園定敏 栗原宏子 桑田勝 桑原信子 弦間まさ小石曉子 小出農一 小出由美子 小岩井雅人 小島ユミ子 小島百合子 後藤祐輝 小林幸代 小林真弓 小林道子 小林美代子 小林良一 小林わか子 駒ヶ嶺泰秀 是永美代子 今野幸子 ザ・ボディショップ 斎藤孝子 斎藤智恵子 斎藤則子 酒井和子 坂井香奈絵 酒井沙弥香 坂野碧衣 佐久間桂子 櫻井正治 さくらんぼ保育園 佐々木英子 佐藤イソ 佐藤英子 佐藤公子 佐藤直美 佐藤なか子 佐野田鶴子 椎名君代 塩澤佳津子 重田文字 設楽文字 品田啓子 嶋影秀雄 清水光子 下江美鈴 下宏子 新村信子 杉本節子 杉山恵子 鈴木暉子 鈴木好枝 鈴木嘉子

スターバックスコーピー 関矢由里菜 瀬戸真子 浅間の森(ソンドベル)の集い 高井汪子 高鍋恵子 高橋恭子 高橋清 竹内由美子 田島みよ 田中清美 田中久美子 谷野みよ子 田部美智子 玉木由美子 玉城節子 多摩スマイル吹奏楽団 田村知江子 千葉直土屋とき枝 堤明 東郷實枝子 戸島正子 板谷さき永井文子 長尾弘修 中垣春代 中下秀子 長島広美 中村尚弘 中村フサ子 中村靖子 中村恭俊 中山寿美 西村珠美 二宮澄子 笠崎聖子 パーム・エコーズ 橋場昭 橋本麻 橋本節子 濱田真理奈 早矢仕房男 原田君枝 原田園彦 原田幸夫 原俊江 樋口よし子 尾藤智子 平泉順子 平岡美津子 比留間アキ子 広木きく江 藤田京子 船岡栄子 舟見三佐子 ふれあいクラブ浅間 保坂良子 星野ユキエ 星野若佐 堀田武三郎 森田一昭 政所優季 町田明子 松沢信子 松下朗 松本恭明 馬部正子 丸田のぶ子 三坂和子 水野洋子 三輪孝子 宮崎清子 宮崎美佐恵 宮崎嘉子 村井博子 望月友子 本野幸子 百瀬洋子 森田薫 母里英子 森脇敏子 モルガンスタールン 八重の会 谷井祥子 山田一丸 山田ケイ子 山野栄治 山本幸子 鎌濱千寿子 ゆうかつファミリーユ一ロクリア・バンク 横尾美知子 吉田ヒサ子 米山秀子 るりまつりの会 朗読赤十字奉仕団 若い芽の会 脇山令子 渡辺勝征 渡辺久代 渡辺弘子 渡辺浩美 渡邊房子

(2015年4月~2015年6月)



体調管理に気を付けて過ごし、お年寄りや子供だけではなく、夏ならではの思い出作りもしたいです。

(さすな 富山真穂)

夏野菜をたくさん食べ、身体にももった熱を身体の中からクールダウンして元気に夏を乗り切ります。

(しらとり 山中有佳)

担当になって初めて発行するしんあいです。これから楽しみながら関わられたらと思います。

(たつち 吉田智味)

地域の夏祭りを自分の子どもと一緒に楽しむのも、最近では楽しみ方の一つです。

(泉苑 岩淵研哉)

今年こそ夏らしく、プールや海に行って夏の思い出を作りたいです。

(泉苑 青木美沙子)

今年の夏は、ツーリングをした思い出ある富士五湖を、今度は自転車での予定です。

(編集 丸山徹)

今年度より、編集委員になりました。よろしくお願ひします。

(あさひ苑 永井厚輔)

暑い夏を元気に乗り切りたいと思います。

(あさひ苑 中嶋恵以子)

お年寄りや子供だけではなく、しっかりと水分や塩分を摂り、熱中症対策をしましょう。

(かんだ連雀 浅見達也)

暑いのは苦手ですが、花火、海、夏祭りは大好きです！今年も夏を楽しみながら乗り切ります。

(岩本町ほろもみプラザ 管理委員会)

四季の中で一番夏が好きです。毎年思っています。今年も夏を楽しみたいです。

(事務局 一色瑞生)

介護保険法の改定に続き、国では社会福祉法の一部改正案が審議待ちです(6月末現在)。制度施策にご利用者の生活やサービス提供の現場が振り回されている感がどうしてもぬぐえません。

(事務局 青木志乃)

介護職員の採用がとも厳しくなっています。この夏はさまざまな所で開催される就職説明会に参加し、一人でも多くの職員の採用につなげて行きたいと思っています。

(編集長 上野廣美)

介護に関するご相談は 無料ダイヤルで!

●泉苑
0120-6540-24
老後支援 24時間

●あさひ苑
0120-2842-24
福祉にっこり 24時間



多摩同胞会のホームページを携帯でもどうぞ!